



学校給食「和食の日」が スタートしました

今年度より日本の食文化の保護・継承のため、全ての区立小・中学校に「和食の日」を導入し、給食で和食を提供します。

ユネスコ無形文化遺産登録により、和食の注目度がアップしています。また、3年後には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、区にも多くの外国人が訪れることが想定されます。今後日本の文化を知り、世界に

伝えていくことがますます重要となっていきます。そこで、次世代を担う子どもたちが、日本の伝統的な食文化である和食の良さを再認識し、世界に誇れる和食について情報発信できるよう、育成していきます。

「和食の日」は年3回実施します。毎回、白飯と一緒に、美味しいだしの汁物、魚料理や和え物を組み合わせた一汁二・三菜の和食献立を、日本茶とともに提供します。おいしい給食を食べながら、日本の食文化についてより深く学ぶ日となります。



1学期は7月19日の「食育の日」※1にあわせて全校が同じ献立を食べ、だしの香り、旬の食材のおいしさ、和食の美しい色彩と盛り付けを日本茶とともに堪能しました。

献立作成には、日本料理店「賛否両論」の店主、笠原将弘シェフにご協力いただき、和食のプロの味を子どもたちに伝えていきます。7月19日には、笠原シェフが、金富小学校の給食作りに参加してくださいました。

2学期は、11月24日の和食の日※2にあわせて実施します。この日は、区と相互協力に関する協定を結んでいる魚沼市の新米を食べます。6年生が移動教室で観察してきた魚沼市の田んぼから、新米が届きます。全校一斉に新米を味わい、収穫の喜びを分かち合います。3学期は、2月8日に実施予定です。

区のホームページにも、各回の様子やレシピを掲載しますので、ご期待ください。



笠原シェフ
のコメント
をご紹介します

和食は、旬の食材を使い、栄養バランスが良く、みんなの成長にぴったりの食事です。日本は四季があり、南北に長いことから、おいしい食材がたくさんあります。すばらしい日本に感謝し、自分の国のお料理を大好きになって欲しいです。

また、茗台中学校では、お茶処静岡県牧之原市役所の職員を講師に招き、お茶の歴史や日本の生活におけるお茶の役割、季節に合わせたお茶の入れ方を学びました。ふれあい給食※3で近隣の方をご招待した際に、1年生がお茶を入れてもてなし、大変喜ばれました。



- ※1 国の食育推進基本計画により、毎月19日を「食育の日」と定めている。年間を通じて継続的に食育推進運動を展開していくことを目的としている。
- ※2 一般社団法人和食文化国民会議により制定。和食文化の保護・継承の大切さを考える日としている。
- ※3 地域の皆さんを学校に招待して、給食と一緒に食べ、交流を深める行事。全ての区立小・中学校で年1回行われている。

学務課給食担当 ☎(5803)1299

今号では、1学期の和食の日に主菜として登場した「白身魚のずんだ焼き」のレシピも紹介します。ご家庭でも和食の良さを実感してみたいかがでしょうか。



詳しくは2面をご覧ください。

1 特集

学校給食「和食の日」が
スタートしました

2 和食の日おすすめレシピ
[白身魚のずんだ焼き]

2 「歯と口の健康づくり2017」を6月8日に開催しました

防災宿泊体験

3 区立小・中学校、幼稚園を紹介します

4 文化財探訪
文化財調査の現場から
一麟祥院所蔵文書整理調査一

4 図書館をささえる
ライブラリーパートナー

東京大学総合研究博物館
スクール・モバイルミュージアム
東大昆虫館

編集後記

和食の日おすすめレシピ

白身魚のずんだ焼き

旬の魚と枝豆で、目に鮮やかな緑のおしゃれな一品が、魚焼きグリルを使って簡単にできます。気軽に和食を食卓に。



★材料(4人分)

- ・白身魚(スズキ、タイなど)の切り身 4枚
- ・ずんだあん
 - むき枝豆 80g
 - 西京みそ 小さじ1~2
 - 砂糖 小さじ1
 - だし汁 大さじ1
 - 塩 少々

★作り方

- ①魚に酒と塩少々(記載外)で下味をしておく。
- ②魚焼きグリルで魚を8割ほど焼く。
- ③枝豆を細かく刻むかフードプロセッサーにかけ、調味料を混ぜ合わせてずんだあんを作る。
- ④②に③をぬり、再度軽く焦げ目が付くくらい焼く。

★ポイント

- ・オーブントースターやオープンでも。焼く温度や時間は調整してください。

学務課給食担当 ☎(5803)1299

「歯と口の健康づくり 2017」を6月8日に開催しました

「歯と口の健康づくり」は毎年6月の「歯と口の健康週間」にあわせて、口腔衛生の向上と発展のために開催しており、今年で55回目を迎えました。

当日は、長野県で開業されている小児歯科医の神谷誠氏の特別講演『子育てを軽くする7つの方法～小児歯科医が見つけたこと～』が行われました。

そのほか、歯科健診において優秀な成績を収めたとして、小日向台町小学校・金富小学校、茗台中学校・第六中学校、小日向台町幼稚園・柳町幼稚園・後楽幼稚園の4校3園が表彰されました。

また、児童・生徒の皆さんから募集した「よい歯の図画・ポスター」の入賞者の表彰も行われました。ここでは金賞を受賞した4作品をご紹介します。



学務課学校保健担当 ☎(5803)1956



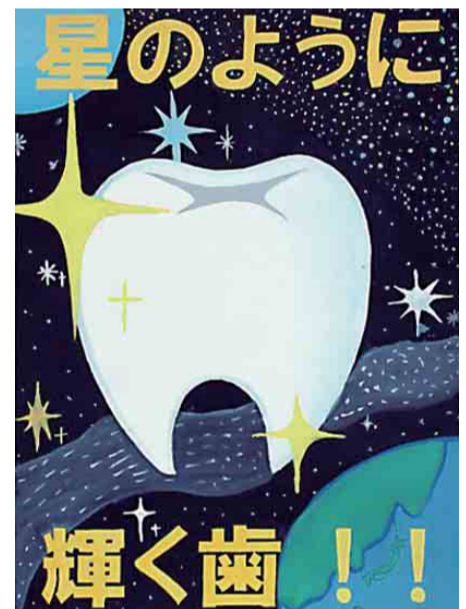
青柳小学校3年 土屋 璃奈さん



窪町小学校4年 井手 吾南さん



林町小学校5年 田中 愛妃さん



茗台中学校3年 崔 喜源さん

防災宿泊体験

区では26年度より全小中学校で防災宿泊体験を実施しています。小学校では第4学年、中学校では第2学年に命の大切さを考えさせ、防災意識を高め災害から自分の命を守るための力を身に付けさせるとともに、協力して身近な人を助け、さらに地域に貢献できる



る人材を育てることを目的として行っています。

具体的な内容として、消火器を使った初期消火、D級ポンプ*等を使った消火訓練、AEDを使った救命体験、応急手当の仕方、搬送訓練や、パケツリレーなどを行っています。また、救済物資として想定し支給されたパンなどをグループで話し合い分け合って食べることや、災害用電話を利用し災害伝言ダイヤルを体験するなど、各学校で子どもたちの実態に合わせた体験を実施しています。そして、学校にクラスみんなで一泊することを通して、協力して生活する経験もしています。

これらの活動は、消防署、日本赤十字社や防災課に協力をしていただき、体験活動を取り入れた充実した内容となっています。

各学校では毎月1回の避難訓練を実施していますが、学校防災宿泊体験では、日常生活とは違う状況、実際の災害発生時を想定して行われます。このような体験から、児童・生



徒は、災害に対する意識を高めるとともに、家族や地域の人を守ろうとする気持ちが育っていきます。これからも、この貴重な機会を生かして、身近な人を助け、地域に貢献できる力を育てていきたいと思います。

*D級ポンプとは防火水槽・池等から水を吸い上げて放水ができるポンプのこと。区民が活用できる消火用資器材のひとつである。

教育指導課 ☎(5803)1300

柳町小学校

所在地 小石川1-23-16
開校 明治34年10月

ここが特徴

柳町小学校は、豊かな関わりの中で、子どもたちが互いに健やかな生活ができるような教育活動を行っています。また、近年は児童数が増えてきていることもあり、学校にダイナミックな雰囲気生まれてきています。



読み聞かせボランティア

縦割り班での活動

全学年の児童が参加する縦割り班の活動では、上の学年の児童が下の学年の児童をリードしながら、掃除や遊び、校外学習などを行っています。異年齢の児童同士の関わりの中では、お互いを思いやる優しい姿が見られます。

学校支援地域本部による教育活動の充実

「読み聞かせボランティア」、「いつでも安全ボランティア」、「学校活動ボランティア」などの活動から成り立つ学校支援地域本部「柳っこ応援団」の皆さんが学校を支えてくださっています。中でも、始業前の時間に実施する「読み聞かせボランティア」は児童にとっても好評で、「とても面白かった。」「また読んでほしい。」といった声が多く聞かれます。現在は、これらの活動の趣旨に賛同してくださった多くの保護者・地域の方に活動していただいています。

最後に一言

今年度は、「一人一人が生き生きと輝く学校」を目指す学校像として掲げています。教職員が「チーム柳町」として一丸となり、笑顔あふれる子どもたちの健やかな成長を支えていこう、という気持ちで頑張っています。

第三中学校

所在地 春日1-9-31
開校 昭和22年4月

ここが特徴

今年創立70周年を迎える第三中学校では、「大人になるための学校」をキャッチフレーズに、中学在学の3年間で学業面・生活面・社会面を含め社会で活躍できる人間としての基礎を学ぶことを目標に学習を行っています。

特色ある教育

学習面においては、全ての授業で「学習のねらい・流れ・まとめ」を必ず説明し、授業内容の理解を図っています。また、毎日家庭学習ノートを宿題として提出させることで、家庭における学習の習慣も身につくよう指導を行っています。



元気いっぱいの生徒たち

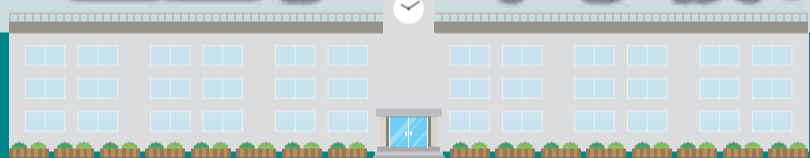
世代を越えての交流

隣接する中央大学高等学校とは男女各1名の推薦入学枠といった学習面での協力を始め、美術部では相互に作品を見に行くなど、部活動での交流も始まりました。また、今年度からは保育園児や幼稚園児、小学生向けの競技を運動会で行うなど、小学生以下の子どもたちとの交流も深めています。

最後に一言

第三中学校の特徴の1つとして、通常学級と特別支援学級が設置されていることもあり、朝の学級活動や運動会でも両学級の生徒が同様に取り組み、交流が自然に行われていて豊かな心が育てられています。生徒たちは地域行事にもボランティアとして積極的に参加しており、素直で明るい子どもたちが第三中学校の宝です。

区立小・中学校、幼稚園を紹介します



現在、区立学校は、小学校20校、中学校10校、幼稚園10園があります。各学校・幼稚園には独自の取組があり、その特色はとても豊かです。今号では、区立学校4校園を紹介します。区立学校の魅力や特色を感じてください。

林町小学校

所在地 千石2-36-3
開校 明治43年10月

ここが特徴

今年で創立107年目を迎え、1人1人を大切にする教育を行っています。林町小学校は特別支援学級の設置校であり、すべての子が楽しく学習できるようユニバーサルデザインの視点に立った授業を先駆けて行っています。1時間の授業の流れを掲示したり、分かりやすい授業のための板書や声かけを工夫しています。今年度はアクティブラーニングの視点から、子どもたちが自ら考え、表現する力を伸ばす研究に取り組んでいます。



たいさん木のひろばで遊ぶ子どもたち

地域の応援団

地域の方を中心に活動する「学校支援地域本部」と「たいさん木のひろば」が学校運営を大きく支えています。図書ボランティア、スクールガード、学習支援、毎日子どもたちが校庭で遊べる放課後の「こどもひろば」の見守りも行っています。「こどもひろば」には全校児童の約8割が登録をしています。今年の6月から週に1回千石西育成室の子どもたちも遊びに来るようになり、他校の子どもたちと遊べる場ともなっています。休日には月1回程度、四季折々のイベントも行っています。春は校庭に保護者・町会に呼びかけて集めたこいのぼりを飾り、夏はプールを使ったカヌー教室、冬は会津から運んできた雪でかまくらやそりで遊ぶイベントなどさまざまな活動をしています。第十中学校と合同で吹奏楽の音楽会を実施するなど、地域全体の交流が盛んに行われています。

最後に一言

地域の方のたくさんのご協力をいただきながら学校を運営しています。今後も「児童を1人1人大切にする教育」を実践していきます。

柳町こどもの森 柳町幼稚園

所在地 小石川1-23-6
開園 昭和28年9月

ここが特徴

幼保一元化施設「柳町こどもの森」では、保育園と幼稚園のそれぞれの特徴、良さを生かしながら、1歳から5歳までの子どもたちが一緒に遊びあひ、楽しく充実した毎日を過ごしています。



広い園庭では保育園児も幼稚園児も一緒に遊びます。

年齢の幅が広がることで、子ども同士が小さい子のめんどうを見たり、一緒に遊んだり、おだやかな気持ちで人と接することが身に付いてきました。

広い園庭

高層ビルが立ち並ぶ中、子どもたちを見守るように緑濃い木々が植栽された広々とした園庭は、ほっとする空間です。大きな砂場と一輪車に乗っても安心な園庭で、のびのびと遊べます。

園内研究と職場体験

共通課題(テーマ)を決めて、幼稚園教諭、保育士と一緒に話し合い、深く掘り下げて研究しています。

今年のテーマは「造形」です。乳児・幼児それぞれの事例を話し合うことが相乗効果をもたらす、幅広い援助の方法を探っています。

職場体験では、たくさんの中学生のお兄さん・お姉さんが来園し、楽しい時間を共有することができました。

最後に一言

積極的に体を動かして遊ぶことのほかに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、日本の伝統文化に着目して、和太鼓体験をしました。さらに獅子舞なども実施する予定で、接することの少なくなった日本文化の真髄にふれ、良さを感じてほしいと思います。



文化財調査の現場から —麟祥院所蔵文書整理調査—

区内のさまざまな文化財を紹介していくこのコーナー。今回は、数々の文化財を所有する由緒正しき寺院、麟祥院をご紹介します。

湯島4丁目に所在する麟祥院は、江戸幕府第3代将軍徳川家光の乳母として著名な春日局が開基となりひらかれた、臨済宗妙心寺派の寺院です。

麟祥院には、多くの文化財が残されています。境内には春日局墓(区指定史跡)があるほか、「十六羅漢図」、「春日局像」、「麟祥院文書・春日局書簡」(いずれも非公開)が区の有形文化財に指定されています。これ以外にも、江戸時代から明治・大正・昭和期にかけて作成された古文書を多数所蔵しています。区では、昭和52年度に古文書の整理調査を実施し、900点以上の古文書を整理し、目録を作成しましたが、近年新たに多くの古文書が発見されました。そこで、これら新たに発見さ



整理作業の様子(27年9月)

れた古文書の整理調査を2年前から実施しています。あわせてすでに整理された古文書の再整理もおこなうことにしました。

江戸時代の麟祥院は、駒込村(現在の文京区本駒込・千駄木、豊島区駒込)および柏木村(現在の新宿区内)を幕府から領地として与えられていた関係から、これらの村々に住んだ人びとの生活の一端をうかがうことができる古文書も残されています。

新たに発見された古文書は、現在までに1500点以上が確認されています。これらの古文書を解読することで、麟祥院の歴史のみならず、麟祥院が所在した湯島や領地があった本駒込の地域の歴史が明らかとなることが期待されます。今後も引き続き、鋭意整理調査を実施し、整理終了後にその成果を報告書にまとめる予定です。



整理作業の様子(29年3月)

教育総務課文化財保護係 ☎(5803)1305

図書館をささえる ライブラリーパートナー

利用者の方に図書館運営に参画していただくことで、図書館がより身近な施設となり、サービス向上につながるよう、「ライブラリーパートナー(ボランティア)」制度を設けています。29年6月現在、11団体51人が登録し、さまざまな活動をしています。

主な活動内容を紹介します。

【布の絵本の製作】

絵本としても遊具としても楽しめる布の絵

本を製作しています。作品は図書館資料として貸出もしています。

【読み聞かせ・ストーリーテリング(素話)】

図書館でのおはなし会や保育園・幼稚園・学校での読み聞かせなどを行います。

【対面朗読・雑誌の音訳】

視覚に障害のある方を対象とした対面朗読や雑誌の音訳テープの製作を行っています。

ほかにも、本の修理、子どもたちの調べ学習の支援、高齢者や障害のある方の館内案内、講演会・映画会・コンサートの運営などがあります。

ライブラリーパートナーについてもっと詳



しく知りたい方、やってみたいと思われた方は、真砂中央図書館までお問合せください。随時受け付けています。

真砂中央図書館サービス事業係 ☎(3815)6801

東京大学総合研究博物館 スクール・モバイルミュージアム 東大昆虫館



毎回特徴的な企画をお届けしているスクール・モバイルミュージアム。今回はさまざまな魅力を持つ昆虫についての展示を行っています。

昆虫とは、時に身近で親しみやすく、時に可憐で美しく、時に忌み嫌われる存在です。人の感性を揺さぶるこの生き物は、色や形、大きさ、動きが環境に合わせて実にさまざまです。今回の展示では、約130年前の標本(日本最古のもの)や、めったに触れることのできない希少な昆虫など、約3700頭の貴重な昆虫標本をご覧いただけます。別の種同士はもちろんのこと、同じ種の中でも何1つ全く同じ形や模様のない昆虫の多様性を体感できます。また、昆虫の多様性を生み出した進化や発生の過程、近年の生態系破壊や地球温暖化などの影響を受ける昆虫の変化も解説しています。東京大学ならではの歴史的標本に触れることで、子どもたちに昆虫への科学的な探究心を抱いてもらうことを期待しています。ぜひこの機会にご覧ください。

教育センター学校支援係 ☎(5800)2591



Information 展示概要

展示期間 10月14日(土)まで
会場 文京区教育センター2階
大学連携事業室
開館時間 月~土曜(祝日を除く)
午前9時~午後5時

専門家の先生によるおはなし会

「文の京に棲む虫の巨匠たち」
日時 9月30日(土)午後2時~3時
講師 藤岡知夫(日本蝶類研究所所長)、
奥本大三郎(ファーブル昆虫館「虫の詩人の館」館長)ほか

編集後記

今回は和食の日について、取り上げました。和食と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか。お味噌汁や煮物など普段私たちがよく食べているものはもちろん、おせち料理などのように行事の時に食べ

るものも含まれるでしょう。和食は栄養バランスがいいだけでなく、四季を感じることもでき、奥が深いです。皆さんも普段の食事に和食を取り入れ、日本の伝統を感じてみてはいかがでしょうか。